

食育事業取組報告書(東小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・ <u>作る</u> ・ <u>食べる</u> ・返す	実施年月日	令和 4年 10月 20日
教科名	総合的な学習の時間	指導者	教諭 松崎 文美
単元名	東小のお宝発見		
ねらい	自分たちの住む地域の良さに気づき、その良さを実感する。		
	児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
	<p>《新発田の地場産物の発見》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田の野菜やくだもの、また五十公野・松浦・米倉・赤谷地区の野菜やくだものについて調べる。</li> <li>・その野菜やくだものについての、食べ方・調理法などをインターネットで調べたり家の人に聞いたりして、実際に作って食べてみた感想をまとめる。(夏休み・冬休みの宿題として各家庭に実践の協力を依頼。児童にはロイロノートでまとめてから提出してもらう。)</li> <li>・自分の実践を友達に紹介し合う。</li> </ul> <p>《五十公野産のいちじく「蓬莱柿」を使ったジャム・コンポート作り》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五十公野産のいちじく「蓬莱柿」について調べる。</li> <li>・いちじくジャム・いちじくのコンポートの作り方の実演を見る。</li> <li>・一人2個ずつ家に持ち帰り、ジャムかコンポートのどちらかを作りロイロノートにまとめたものを提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域探検をして自分の家の周りにどんな物が栽培されているか、新発田市のホームページを参考にたくさん育てられている野菜やくだものは何かを調べられるように促す。</li> <li>・長期休業中の課題を「新発田の美味しい物を味わおう」と設定した。各家庭の協力を依頼し、できるだけお店と一緒に連れて行ってもらい、地場産物を使った調理を手伝い、味わう体験をさせる。タブレットを用いてまとめる活動を通して、自分の活動を他の人にも紹介する。</li> <li>・五十公野地区で盛んに栽培されているいちじく「蓬莱柿」に注目して、栄養教諭に協力を依頼し、人数分の確保と購入を手助けしてもらう。</li> <li>・実際に食べる活動まで行いたかったが、感染拡大防止の観点から、自宅での調理とした。</li> </ul>	 
成果と課題	<p>東小のお宝を発見しようと促すと、子どもたちは食のことを挙げる人が多い。しかし、町探検などに出かけても、近くにあった畑や果樹園については意外と知らないことも多かった。調べる活動を通して、タブレットの画面上で見えていた物が、お店に行くとき実際に商品として陳列され、家で調理してみて食べるとこんなにおいしいんだ、と気付くことができた。専門家のお話を聞くことができなかったのが残念だったが、給食での地場産物の紹介、五十公野産のいちじく「蓬莱柿」を使った給食の献立への思いを栄養教諭から聞かせてもらうことを通じて、携わる人の思いをほんの少しだが感じる事ができた。</p>		
家庭・連携地域	<p>感染拡大防止の観点から、学校での調理実習ができなかったため、家庭での調理を依頼しなければならなかった。長期休業中の活動と、休日を利用した実施を依頼したが、どの家庭も協力的で、子どもたちの活動を支援していただくことで、一緒に地場産の野菜やくだものについて考えてもらう良い機会となった。各家庭からも、「一緒に作ることができて良かった。また作ってね。」と、子どもたちに温かい言葉をかけてもらった。栄養教諭、地域の生産者、JAの方々のご協力により、人数分のいちじくが確保でき、この活動が実現できたことに感謝する。</p>		